

情報公開文書

研究の名称	聴診の実技指導への支援を目的とした小型センサーによる聴診手技の評価
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 第一内科助教 瀧川 章子
研究の概要	<p>【研究対象者】 対象は聴診指導を受ける学習者 60 名です。 学習者には富山大学医学部および金沢医科大学の病棟実習の学生さんや初期研修医を含みます。</p> <p>【研究の目的・意義】 聴診の際の聴診器の扱い方について、聴診指導を受ける学習者と熟達者の差異を明らかにすることです。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>1. 研究のデザイン 観察比較対照研究</p> <p>2. 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・小型圧力センサー：小型センサーは共同研究機関である高知工科大学で市販品のパーツを組み合わせてデータ収集装置を作成します。聴診器本体は医療機器として認可された市販品を用い、従来型の聴診器に小型センサーを装着します。診察を受ける人の体表には厚さ 0.5mm 半径 4mm の円形圧センサーの平滑な非電極面が接触するのみで侵襲はありません。・データ収集方法：上記の小型センサーで収集する項目としては6つ（圧・位置・移動速度・移動加速度・圧安定性・接触時間）を想定しています。・熟達者：聴診に習熟した医歴 15 年以上の内科専門医です。・実施手順：学習者については、学習者同士もしくはシミュレータ対象に診察実技指導を受けている間にデータを収集します。指導者については実診療中もしくはシミュレータで模範手技を提示する際のデータを収集します。・収集したデータの統計解析は研究代表者が富山大学において行います。・解析結果は研究代表者および共同研究機関で共有しますので、結果を含む情報は共同研究機関である高知工科大学に提供します。この際にも実診療の際の個人の特定につながる診療情報や学習者の個人特定につながる情報は提供されません。 <p>3. 評価項目</p> <p>3.1. 主要評価項目： 熟達者および学習者での小型センサーに加わる圧および移動加速度データの差異です。</p> <p>3.2. 副次評価項目： 熟達者および学習者でのセンサーの位置・移動速度・圧安定性・接触時間の差異です。</p> <p>4. 統計解析の方法 2 群間の割合の比較には Pearson のカイ 2 乗検定を用います。重回帰解析（名義尺度が目的変数であれば多重ロジスティック解析）によりこれまでの指導・学習経験による影響を調整します。2 群間の平均値の比較には t 検定を用います。共変量の調整のために共分散分析を行います。</p>

	<p>5. 予定例数 聴診の指導を受ける学習者：60名 熟達者：3名</p> <p>【研究期間】 西暦 2021年05月19日～西暦 2023年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会および論文発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>試料の新規の取得はなしです。 小型センサーから抽出された情報を用います。また学習者の性別、年齢、学年、医歴(医師であれば何年目か)を情報として用います。 代表機関：共同研究機関である高知工科大学への情報提供を行いますが、情報はすべて匿名化されています。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>富山大学附属病院 第一内科助教 瀧川 章子</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	<p>富山大学附属病院 第一内科助教 瀧川 章子</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7287 FAX 076-434-5025 E-mail naika1@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第一内科助教 瀧川 章子</p>